



2020年10月

L.N.

ライブラリー・ニュース

2-2 2-2

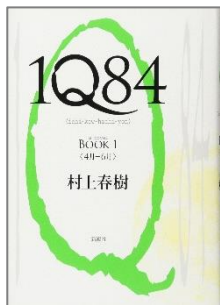
発行 図書委員会 担当 生田・河合・司書



### 『すし 天ぷら 蕎麦 うなぎ』飯野亮一著（ちくま学芸文庫）

日本料理の基礎が出来上がった江戸時代に江戸の四大名物といわれた、すし 天ぷら 蕎麦 うなぎ について誕生から事細かに書かれた読み物。

膨大な史料から読み解かれた以外な事実、それらの名物についての一般的な知識をさらに深掘りにしたものなどを、多用された挿絵、川柳などで視覚的、聴覚的に読むことができる。



### 『1Q84 全3巻』村上春樹著（新潮社）

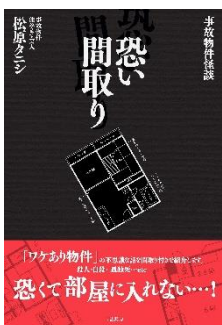
村上春樹が、2009年から2010年にかけて出版した1984年を描いた長編小説。物語は2人の男女からの別々の視点で書かれている。2人は「1984年」という時間軸から「1Q84年」と名付けられた時間軸に偶然迷い混んでしまう。そこで、さまざまな普通ではないことに遭遇してしまう。

この作品の見所は、対照的な2人の男女に物語が進むなかで、共通点を見いだす爽快感です。



### 『少女は卒業しない』朝井リョウ著（集英社文庫）

別の高校との合併で、校舎が取り壊される高校最後の卒業式、1日を描いた作品。それぞれ登場人物の視点から物語が構成されている短編集なので、かなりさくっと読めます。また、私も登美ヶ丘最後の卒業生になるので、登場人物達と似ている境遇で、自分も卒業が来たらこんな気持ちなのかな？と想像しながら読みました。登美ヶ丘生におすすめの作品です。



### 『事故物件怪談 怖い間取り』松原タニシ著（二見書房）

この本は、著者が今までに住んだ事故物件の間取りやそこで起きた出来事などが描かれています。私は映画を観てから、この本を読み始めたのですが、この作品に出てくる幽霊が怖いというよりは、人間が恐くなるような作品です。